



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)多摩運送株式会社貸井営業所	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度								
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5				ふつう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.6	/5				がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4	/5				がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.8	/5				がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点	3.5
<p>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</p> <p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①ALC採用による断熱性の向上、開口部中止の温熱環境の向上。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥周囲に緑地のを配し、環境への配慮をした。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦ALCによる断熱化。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマ衛生器具の採用。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭外壁性能を上げ、空調の不採用とした。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
	<p>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</p> <p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰内装が無いことによる、更新性の向上を図った。</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
	<p>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</p> <p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳倉庫用途を考慮し自由空間を採用した。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑道路沿いに緑地を配した。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
	<p>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) ㉓道路沿いに緑地を配した。</p> <p>■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)</p>	Q-3 1 ⑳ 2 ㉒ 3 3.2 ⑳ LR-3 2 2.2 ㉔	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ・景観への配慮 ⑳ 敷地内温熱環境の向上 ㉔ 温熱環境悪化の改善

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)多摩運送株式会社袋井営業所	階数	地上1F
建設地	静岡県袋井市	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,056時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 0.0	評価の実施日	2019年8月27日
敷地面積	7,451 m ²	作成者	アート総合設計
建築面積	2,342 m ²	確認日	2019年8月28日
延床面積	2,342 m ²	確認者	アート総合設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.9

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 倉庫の用途を考慮した動線の確保及び関係諸室の配置とした。		その他
Q1 室内環境 倉庫の用途上、窓を設けず室内環境の変化を少なくした。	Q2 サービス性能 倉庫の用途を考慮し棚等のレイアウト変更にも対応出来る様に空間を確保をした。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲に緑地を配し環境への配慮をしている。 調整池設置により雨水の放流量に配慮している。
LR1 エネルギー 省電力のLED照明を採用によりエネルギーの消費を抑える設計とした。	LR2 資源・マテリアル 衛生器具は節水型の採用。	LR3 敷地外環境 駐車場を確保し、周辺へ配慮した設計とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される